

宇佐市教育委員会アクションプラン

目標及び指標

【目標】

1. 児童生徒の自立に向けた「主体的な学び」の確立
既習事項を活用した問題解決的な授業の展開
2. 全国調査において、すべての教科で全国平均を超える。
3. 大分県学力定着状況調査で全教科県偏差値を超える。
4. 校長のリーダーシップによる学力向上・授業改善の取組の徹底。
5. 教科の課題を認識し、改善を図る教科部会の更なる充実。
6. 小中の連携による互見授業の充実。

達成指標

- 全国調査A問題の平均正答数
標準化得点
小 102 中 101
- 全国調査B問題の平均正答数
標準化得点
小 102 中 101

取組指標

- 習熟度別指導実施状況
算数・数学・英語等 全指導時間の70%以上
- 各校内研での活用型授業の公開授業実施学校数 100%
- 学校図書館を活用した授業実践 全学年学期に3回以上
(新聞を活用した授業を含む)
- 教務主任会の開催 2回以上とし、内容の充実を図る。
- チェックシートをもとに授業観察をする学校100%。
- 授業改善5点セットのPDCAサイクルを年間3回以上行い、
見直し・改善を図る。
- 小中間の互見授業への参加 100%

- 授業改善が進んできたといえる教員 90%以上
- 授業が楽しく、充実しているといえる児童生徒 90%以上

行動計画

① 授業改善に関する行動計画

ア 学校全体で取り組む授業改善に向けて

- (管理職による授業改善の推進は必須、小学校における教科担任制の推進を含む)
1. 学びに向かう力と思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫(新大分スタンダードに基づく授業)
 - ・つきたいちからを確実ににつけるための課題の設定と、学び合いを深める授業展開の工夫
 - ・学びの自覚ができる「まとめ」と「振り返り」の充実
 - ・生徒指導の3機能を生かした「わかる授業」の工夫
 2. 組織的に取り組む授業改善の充実
 - ・授業改善5点セットに沿った確実な実践を共有する。
 - ・管理職、教務主任による視点を明確にしたチェックシートを活用した授業観察(互見授業においても同様)
 - ・教務主任会における課題の共有、実践

イ 習熟の程度に応じた指導の充実に向けて(補充指導の充実を含む)

- ・個に応じた補充学習の時間の充実・工夫
- ・習熟度別指導の充実

ウ 司書教諭等を核とした学校図書館を活用した指導体制の確立に向けて

- ・国語科を中心とした言語活動・並行読書の充実
- ・年間指導計画への学校図書館を活用した授業計画の明記
- ・学校司書との連携(ブックトーク、資料収集、新聞活用等)

エ 市町村の教科部会を活用した授業改善に向けて(特に中学校)

- ・各教科部会での授業研究、公開授業への参加体制の確立
- ・主免教科による教科専門部会での授業改善にむけた研修の充実
- ・学力向上支援教員や習熟度別指導推進教員を中心に、全中学校において、
近隣中学校教科合同研修部会の開催により授業改善の共有を図る。

② 学びに向かう学校づくりに関する行動計画

- ・幼保小の連携協議会の充実 (幼保小の連携・小中連携を含む)
- ・小中間の互見授業参加体制強化
- ・学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員等公開授業への積極的な参加体制

③ 保護者・地域と連携した学力向上の取組に関する行動計画

ア 放課後や土曜日の教育環境の充実

- ・年間8回の土曜授業開催
- ・土曜授業など地域の人材を活用した授業の充実
- ・高校とのジョイント授業による学ぶ意欲の向上
- ・放課後チャレンジ教室の実施(社会教育課)

④ その他

- ・ICT機器を活用した授業研究

